題字：井茂圭洞（書家・文化功労者）

令和３年３月号
兵庫県芸術文化協会
発行所／（公財）兵庫県芸術文化協会
文化振興部
〒650-0011 神戸市中央区下山手通４丁目16番３号
（兵庫県民会館内）電話078－321－2002
編集・発行人／山本亮三
（公財）兵庫県芸術文化協会理事長
http://hyogo-arts.or.jp

坂井時忠音楽賞　受賞者決定

本年度の「坂井時忠音楽賞」受賞者にピアノ奏者の坂本彩さんと声楽家（バリトン）の桝貴志さん、「亀高文子記念―赤艸社賞」受賞者に柴田知佳子さんが選ばれました。同音楽賞と赤艸社賞の合同贈呈式は3月11日㈭、兵庫県民会館2階兵庫県民アートギャラリー大展示室で行われます。

ピアノ奏者　坂本（さかもと）　彩（あや）さん

声楽家・バリトン　桝（ます）　貴志（たかし）さん

当協会では、県域において優れた音楽活動を行い、将来の活躍が期待される新進の音楽家を奨励するため「坂井時忠音楽賞」を贈呈しています。

この賞は、故・坂井時忠知事（当協会元会長）の音楽に寄せられた心を普及させ、音楽活動の推進と芸術文化の振興に寄与することを目的として、平成3年度に創設されました。

坂本　彩さん

桝　貴志さん

【受賞者プロフィール】

坂本　彩さん㈶ピアノ奏者（明石市）＝東京藝術大学卒業後に渡独し、ベルリン芸術大学及び同大学院のピアノソリスト科室内楽科を修了。2019年より東京藝術大学非常勤講師。

桝　貴志さん㈷声楽家・バリトン（西宮市）＝大阪音楽大学を卒業後、新国立劇場オペラ研修所第5期生修了。ボローニャ国立音楽院に短期留学。二期会会員。

【選考委員講評】

坂本さんは、ドイツで培った楽曲の持つ世界を余すことなく表現し聴衆を魅了している。音楽に対する真摯な姿から、今後ますますの活躍を期待している。

桝さんは、安定した歌唱力に加え、存在感ある心地よい美声で注目を集める逸材で、声楽家として今後ますますの活躍を期待している。

亀高文子記念―赤艸（せきそうし）社賞

美術作家　柴田（しばた）　知佳子（ちかこ）さん

柴田知佳子さんの作品「Embrasse」

柴田 知佳子さん

「亀高文子記念―赤艸社賞」は故亀高文子氏（兵庫県文化賞受賞者）のご遺族からの寄付をもとに、女性洋画家を対象に平成4年度に創設されました。同女史が創立した「赤艸社女子洋画研究所」にちなんで名づけられ、兵庫県芸術文化協会が表彰してきました。

【受賞者プロフィール】

柴田　知佳子さん㈿無所属（宝塚市）＝神戸大学大学院美術教育研究科修了。抽象表現主義という古いジャンルにおいて絵画を制作しており、ダイナミックな筆遣いと白を巧みに効かせた色遣いは魅力的で、置かれた空間に圧倒的な実在感を放つ一方で、しっとりとした余韻を漂わせることに成功している。

【選考委員講評】

パリや梅田のオフィスビルのロビーなど異質の空間における展示を機に、作品と空間との関係について思考を深め、近年意欲的に活動している。また、作家の内心が色となり形となり、作品に強いエネルギーを感じる優れた美術家である。

「亀高文子記念―赤艸社賞歴代受賞者作品展」が3月5日㈮～14日㈰まで兵庫県民アートギャラリー大展示室で開催されます。柴田さんの作品も含め、歴代受賞者の作品が一堂に会する作品展をぜひ、ご覧ください。

横尾忠則現代美術館

Curators in Panic
～ 横尾忠則展　学芸員危機一髪

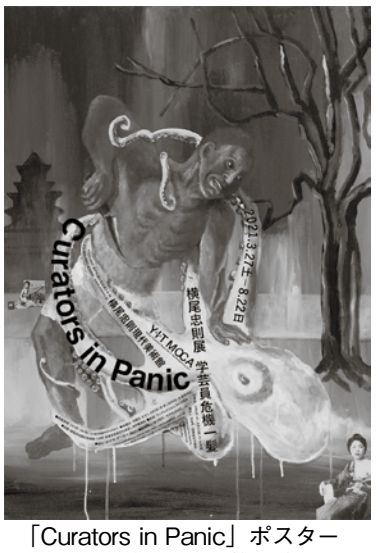
3月27日㈯～8月22日㈰

2021年から2022年にかけて国内外で開催予定の横尾忠則の大規模な個展に、当館の横尾作品も引っ張りだこ。喜ばしい反面、約140点もの作品が収蔵庫から消えても果たして企画展は開催できるのか？

学芸員はパニック状態です。

そこで、3名の学芸員が過去に企画した展覧会を振り返り、収蔵品の中からそれぞれの「推し作品」を勝手におすすめすることにしました。日ごろの調査の中で発見したこと、展覧会にまつわるエピソード、ただただ好きな作品…。選抜メンバーを逃した「うちの子」たちへの愛情を語ります。

また、4階には横尾忠則コレクションギャラリーが新設されます（詳細は4月号に掲載）。企画展と共にお楽しみください。



「Curators in Panic」ポスター
2021　デザイン：横尾忠則

【会期】 3月27日㈯～8月22日㈰

【開館時間】 10時～18時（入場は17時30分まで）

【休館日】 月曜日（ただし、祝日の場合は翌平日休館）

【観覧料】 一般700円（当協会友の会会員は550円、70歳以上350円、大学生550円、高校生以下無料

【場所】 横尾忠則現代美術館☎078・855・5607

【プレゼント】 チケットを抽選で5組10人に。応募方法は本紙3面。11日㈭必着

県民アートギャラリー　バーチャルギャラリー

県民アート Gallery Walk 360

今月から運用開始

リニューアルした兵庫県民アートギャラリーが、今度はVR技術を活かしてスマートフォンやパソコンからオンラインで鑑賞できるようになります。

兵庫県民アートギャラリーで開催される展覧会が対象で「県民アート Gallery Walk 360」（仮称）を利用すれば、会期中いつでも作品をご観覧いただける場となるWeb上のギャラリー。

ホーム画面から、観たい展示室名をクリックすると、まるで展示室内を歩いているかのように作品を観ることができます。

現在はデモ版ですが、展覧会へ行けなかった方など、時間を気にせず観覧できるバーチャルギャラリーを、ぜひ体験してみてください。利用される展覧会主催の方は兵庫県民会館アートギャラリー担当にご相談ください（☎078・321・2131）。

大展示室　イメージ画面
（パソコン用の画面）＊デモ版

県民アート
Galler Walk 360ホーム画面
（スマートフォン画面）＊デモ版

ひょうごアーティストサロン賞

受賞者が決定しました

ひょうごアーティストサロン事業に積極的に参加し、将来一層の活躍が期待される新進・若手芸術家と、サロンの企画・運営に協力のあった指導者を表彰する「ひょうごアーティストサロン賞」の受賞者が決定しました。

本年度は、アーティスト部門ではクラリネット奏者の蔭山晶子さん㈲、日本画家の島田直季さん㈹が、協力者部門では音楽家の小川哲生さん㈺が選ばれました。

贈呈式は3月8日㈪に兵庫県民会館で行われます。

詳細については、次号（4月号）の「すずかけ」でご紹介します。

SNS はじめました！

ソーシャルネットワーキングサービス

兵庫ゆかりのアーティスト動画を配信中！
ユーチューブチャンネルに登録をお願いします！

動画配信はこちらをチェック！

YouTube ユーチューブ

Instagram インスタグラム

facebook フェイスブック

twitter ツイッター

こだま

「乗り鉄」でこれまでにいろいろな列車に乗車しました。大雪等による運休続きで、やっとの思いで乗ることができた寝台急行「きたぐに」。〝青春18きっぷ〟を最大限活用すべく、0時を過ぎてから乗車した「ムーンライト松山」。新潟の地酒を美味しくいただいた「越乃Shu＊Kura」など、列車にまつわる旅の思い出は尽きません。

もっとも、最近は新型コロナの影響により、もっぱら「スジ鉄」で、時刻表を眺めては、列車の旅をあれこれと想像して楽しむ日々が続いています。西村京太郎先生の時刻表トリックさながらに、意外なところで乗り換え可能な列車を発見し、完璧な（？）旅のプランが出来上がったときの達成感には格別のものがあります。

そんな私が今注目しているのが、JR九州が昨年十月から運行を開始した「36ぷらす3」です。同社では豪華列車の「ななつ星」が有名ですが、やはり料金を考えると、おいそれとは乗ることができません。その点、こちらのほうは同じ九州を巡る列車であっても、宮崎～別府間といったような区間乗車ができます。お目当ての列車に勇躍乗り込み、高揚感に浸りつつ車中の人となる。新型コロナ禍が収束し、そのような日々が一日も早く戻ってくることを願ってやみません。（T）

令和３年度　兵庫県生活文化大学
受講生を募集します！　３月31日㈬締切

◆ 申込み･問い合わせ ◆
兵庫県芸術文化協会「生活文化大学」係
TEL ０７８・３２１・２００２
FAX ０７８・３２１・２１３９
sinkoubu@hyogo-arts.or.jp

※募集する講座は、学校教育法に基づく大学等ではありません。

※兵庫県芸術文化協会友の会会員の方には受講料の割引がございます。この機会にぜひ友の会にご入会ください。

神 戸 校

兵庫県民会館（神戸市中央区下山手通４-16-３）

▶ＪＲ・阪神「元町駅」から北へ徒歩７分、地下鉄「県庁前駅」下車すぐ

ふるさとの歴史講座

～神戸・阪神間の古代史Ⅱ～

共催／兵庫県立歴史博物館　ひょうご歴史研究室
◆受講料（年間）会員13,000円　一般17,000円

	実施日	講座内容	講師
①	４/12㈪	神戸・阪神間の海辺の古墳	奈良文化財研究所客員研究員（元神戸市埋蔵文化財センター所長）渡辺　伸行
②	５/10㈪	凡河内氏（おうしこうちし）と大阪湾岸	ひょうご歴史研究室客員研究員（神戸大学大学院教授）古市　晃
③	６/14㈪	阪神間の海人とミナト	ひょうご歴史研究室研究コーディネーター 坂江　渉
④	７/19㈪	敏売崎（みぬめのさき）の外交儀礼 ～倭王権からみた西摂～	
⑤	９/13㈪	古代・中世の大輪田泊（おおわだのとまり）	ひょうご歴史研究室歴史研究推進員 大村　拓生
⑥	10/４㈪	猪名と尼崎の立花 ～タジマモリ伝承との関連で～	ひょうご歴史研究室客員研究員（神戸大学大学院教授）古市　晃
⑦	11/８㈪	兎我野（とがの）と夢野（ゆめの） ～シカのみた夢～	ひょうご歴史研究室客員研究員（立命館大学非常勤講師）髙橋　明裕
⑧	12/６㈪	信仰の山、六甲山	ひょうご歴史研究室研究コーディネーター 坂江　渉
⑨	１/17㈪	武庫国（むこのくに）と羽束国（はつかしのくに）	ひょうご歴史研究室客員研究員（立命館大学非常勤講師）髙橋　明裕
⑩	２/７㈪	近世名所図絵からみた「古代史」	神戸深江生活文化史料館長（神戸新聞社取締役）大国　正美

考古学講座

～兵庫の重要遺跡【弥生時代編２】～

共催及び監修／兵庫県立考古博物館
◆受講料（年間）会員13,000円　一般17,000円

	実施日	講座内容	講師
①	４/16㈮	弥生ムラの全容 ～玉津田中遺跡(神戸市西区)～	兵庫県まちづくり技術センター埋蔵文化財調査部調査第２課長 篠宮　正
②	５/14㈮	弥生墳墓から古墳へ ～有年原（うねはら）・田中（たなか）遺跡と有年牟礼（うねむれ）・山田（やまだ）遺跡(赤穂市)～	赤穂市教育委員会文化財課文化財係長 荒木　幸治
③	６/11㈮	弥生時代と兵庫の遺跡	兵庫県立考古博物館館長 和田　晴吾
④	７/９㈮	西播磨の弥生大集落―弥生人の防災と祈り ～新宮宮内（しんぐうみやうち）遺跡（たつの市）～	たつの市教育委員会歴史文化財課専門員 岸本　道昭
⑤	９/10㈮	朱と神仙の世界 ～二ツ石戎ノ前（ふたついしえびすのまえ）遺跡（洲本市）～	兵庫県立考古博物館学芸員 上田　健太郎
⑥	10/８㈮	銅鐸研究最前線 ～松帆銅鐸のすべて（南あわじ市）～	関西大学大学院非常勤講師 森岡　秀人
⑦	11/12㈮	兵庫県立考古博物館　特別展鑑賞講座 「(仮)屋根を飾る鴟尾（しび）・鯱（しゃちほこ）」	兵庫県立考古博物館学芸員 池田　征弘
⑧	12/３㈮	邪馬台国時代の集落 ～大中遺跡（播磨町）～	兵庫県立考古博物館館長補佐兼企画広報課長 多賀　茂治
⑨	１/14㈮	西摂の王墓 ～市民が守った田能（たの）遺跡（尼崎市）～	尼崎市立歴史博物館田能資料館学芸員 竹原　千恵
⑩	２/４㈮	日本海に響く琴板の音 ～袴狭（はかざ）遺跡（豊岡市）～	兵庫陶芸美術館所長補佐兼学芸課長 藤田　淳

文化財講座

美術は音楽のようにエールを送れるか？
～人生の応援美術を探し求めて～

◆監　修　山中 理（おさむ）(白鶴美術館評議員)
◆受講料（年間）会員13,000円　一般17,000円

	実施日	講座内容	講師
①	４/28㈬	魂を鼓舞する美術	白鶴美術館　評議員 山中　理
②	５/19㈬	優雅な美術 ～うたものがたりの漆芸品～	関西学院大学　非常勤講師 近藤　利江子
③	６/16㈬	心安らぐ美術	白鶴美術館　評議員 山中　理
④	７/21㈬	多様な美術 ～江戸時代の絵画の様相～	大阪芸術大学　名誉教授 田中　敏雄
⑤	９/22㈬	喫茶のたのしみ	兵庫県立美術館　学芸員 柏木　知子
⑥	10/20㈬	侘び ～武骨な恰好が良いのです～	公益財団法人阪急文化財団　理事 仙海　義之
⑦	11/17㈬	近代、コレクターたちの東洋古美術 ～美術の力を信じて～	白鶴美術館　主任学芸員 海原　靖子
⑧	12/22㈬	身を飾る大胆な意匠 ～陣羽織、狂言装束～	大阪芸術大学　非常勤講師 齋藤　朋子
⑨	１/19㈬	人を導く美術	白鶴美術館　学芸員 田林　啓
⑩	２/16㈬	寂び ～古美た風情が良いのです～	公益財団法人阪急文化財団　理事 仙海　義之

西洋美術講座

西洋美術史Ⅶ
～自然描写でたどる西洋美術史～

共催／兵庫県立美術館「芸術の館 友の会」
◆講　師　蜷川 順子（関西大学名誉教授）
◆受講料（年間）会員13,000円 一般17,000円

	実施日	講座内容
①	４/28㈬	プリマ・ポルタ、リウィアの別荘壁画 ～楽園としての庭園～
②	５/19㈬	ベアトゥス黙示禄写本群 ～幻想的風景～
③	６/16㈬	一角獣と貴婦人のタピスリ ～閉ざされた庭園～
④	７/21㈬	ヤン・ファン・エイクの自然 ～大気と光～
⑤	９/22㈬	レオナルドの自然観察 ～水と風～
⑥	10/20㈬	プッサンの英雄的風景 ～物語の舞台～
⑦	11/17㈬	コンスタブルの跳ね馬 ～日常の舞台～
⑧	12/15㈬	モネの睡蓮 ～連作と抽象～
⑨	１/19㈬	フリードリヒの氷塊 ～自然の驚異と崇高～
⑩	２/16㈬	ゴッホの種 ～命の連鎖～

●「音楽鑑賞講座」は５月開講予定で４月号に掲載します。
●「日本美術講座」「ふるさとの歴史講座　姫路校」は9月開講予定です。
●各講座とも事前にお問い合わせのうえ、お申し込みください。
●神戸校・明石校とも時間は14時～15時30分です。
ただし、西洋美術講座は10時～11時30分、ふるさとの歴史講座（神戸校）は14時30分～16時です。
●都合により、日時・会場・講師・内容を変更する場合があります。
●掲載している講座は、すべて途中の回からでもお申込みいただけます。

考古学講座

明 石 校

ウィズあかし（明石市生涯学習センター）
（明石市東仲ノ町6-1）

▶ＪＲ・山陽電車「明石駅」下車、南口を出て東へ３分、 アスピア明石北館

ふるさとの歴史講座

～現代生活の源流Ⅳ～
協力／明石市

◆講　師　小栗栖（おぐりす） 健治
（神戸女子大学古典芸能研究センター客員研究員）
◆受講料（年間）会員12,000円 一般16,000円

	実施日	講座内容
①	４/27㈫	書写山円教寺と性空上人
②	５/11㈫	室津の小五月祭 ～荘園領主の祭り～
③	６/８㈫	羽柴秀吉の播磨攻め・その後 ～荒廃から復興へ～
④	７/13㈫	源信と『往生要集』 ～死後世界のバイブル～
⑤	９/14㈫	祭りからひもとく中世の村
⑥	10/26㈫	加古の沙弥教信 ～念仏の聖～
⑦	11/９㈫	僧が見た中世の播磨
⑧	12/14㈫	浄土双六 ～双六のはじまり～
⑨	１/25㈫	慈心坊尊恵の地獄巡り
⑩	２/８㈫	寺社参詣曼荼羅の世界

参加しやすい「短期講座」を開講します！

来年度は新企画として短期で受講できる「短期講座」を開講します。

【美術品輸送講座】門外不出の仏像や世界の名画が出展される展覧会には、美術品輸送のエキスパートの存在が不可欠です。「さわってはいけない」ものを梱包し、取り扱うプロの技術から展覧会の舞台裏に迫ります。

【文楽鑑賞講座】７月に県立芸術文化センターで開催される忠臣蔵外伝物の代表作「弥作（やさく）の鎌腹（かまばら）」を鑑賞。６月には事前講座として古典芸能案内人の天野光さんを講師に迎え、見どころを伺います。

このほか、４月から新たに国立文楽劇場等と提携し、友の会会員の皆様に鑑賞チケットをお手頃な価格で斡旋可能となりました。（６面参照）

各講座、詳細が決まり次第、本紙でご案内させていただきます。ご期待ください。

展覧会の舞台裏に迫る「美術品輸送講座」

催物情報

イベントガイド

☆記事中の「友の会会員」は兵庫県芸術文化協会友の会会員。割引は原則として本人のみ適用。

プレゼントのご応募について

①希望プレゼント名②希望枚数（2枚まで）③〒住所④氏名⑤電話番号⑥友の会会員の方は会員番号⑦メッセージを明記し、ハガキかFAXで送付。
＊応募締切後に抽選。当選者の発表は、発送をもってかえさせていただきます。

〒650−0011 神戸市中央区下山手通4−16−3
(公財)兵庫県芸術文化協会「すずかけ」係
FAX 078-321-2139

＊応募者の個人情報の取り扱いについては(公財)兵庫県芸術文化協会で厳重に管理し、プレゼントの発送・関連するお問い合わせのみに利用いたします。

㊐＝開催日、㊡＝休館日
㊗＝開館時間、㊙＝入場(館)料金
㊥＝内容、㊤＝出演者・団体
㊧＝会場、㊦＝問い合わせ先

兵庫県民アートギャラリー
☎078・321・2131

■兵庫県洋画団体協議会 選抜作家展〈1階〉㊐3月3日㊌～7日㊐㊗10時～17時、最終日は～16時㊙無料㊥洋画32点

■―亀高文子記念―赤艸社賞歴代受賞者作品展〈2階〉㊐3月5日㊎～14日㊐㊗10時～17時㊙無料㊥洋画30点

■神戸大学写真部第49回部展 85周年記念展〈2階〉㊐3月9日㊋～14日㊐㊗10時～17時、初日は14時～、最終日は～15時㊙無料㊥写真約30点

■2021兵庫県民会館 文化教室総合展〈2階〉㊐3月19日㊎～21日㊐㊗10時～17時、最終日は～16時㊙無料㊥洋画、日本画、水墨画、書等約130点

■元気がでる いけばな展 in兵庫Ⅱ〈1階〉㊐3月20日(土・祝)～21日㊐㊗10時～17時㊙無料㊥いけばな約13瓶

■芳風会 書道作品展〈1階〉㊐3月26日㊎～28日㊐㊗10時～17時、初日は13時～、最終日は～16時㊙無料㊥書約40点

■第45回 全日本こども美術大賞展〈2階〉㊐3月27日㊏～28日㊐㊗10時～17時㊙無料㊥児童画約1000点

ひょうごアーティストサロン
☎078・321・2005

■兵庫県民会館ロビーコンサート〈1階ロビー〉

①神戸山手女子高等学校音楽科 センプリーチェ・コンサート㊐3月13日㊏14時㊙無料＊いけばな／山根裕子（兵庫県いけばな協会／真生流）※中止になる場合があります。最新の情報はＨＰでご確認ください。

②藤山愛子ピアノコンサート㊐3月27日㊏14時㊙無料㊤ピアノ／藤山愛子＊いけばな／伊藤洸明（兵庫県いけばな協会／御室流）

■兵庫県日本画家連盟選抜展〈1階サロン内〉㊐3月30日㊋まで㊗10時～17時、最終日は～16時㊡水・日曜日㊙無料㊥日本画家7人の作品展

原田の森ギャラリー
☎078・801・1591

■片山工房の「小さな」作品展 in 原田の森ギャラリー〈本館障がい者アートギャラリー〉㊐3月31日㊌まで㊗10時～18時、最終日は～15時㊙無料㊥書、洋画約10点

■第56回兵庫県書道展（評議員・委員の部、準会員・公募の部、無鑑査会員・会員の部）〈本館1・2階〉㊐3月7日㊐まで㊗10時～17時、3月2日㊋、5日㊎は13時～、最終日は～16時㊙無料㊥書約1800点

■第2回一陽会関西支部彫刻展〈東館1階〉㊐3月2日㊋～7日㊐㊗10時～17時、初日は13時～、最終日は～16時㊙無料㊥彫塑約30点

■芦屋写真協会会員展2021〈東館2階〉㊐3月3日㊌～7日㊐㊗10時～18時、最終日は～15時㊙無料㊥写真約100点

■兵庫県美術家同盟会員小品展〈本館1階〉㊐3月10日㊌～14日㊐㊗10時～18時、最終日は～16時㊙無料㊥洋画、彫塑約150点

■第46回こうべ市民美術展〈本館2階〉㊐3月16日㊋～20日(土・祝)㊗10時～17時45分(入場は17時30分まで)、最終日は～15時(入場は14時45分まで)㊙無料㊥日本画、洋画、彫刻、工芸、書、写真、デザイン約250点

■第9回美術の祭典 関西展〈本館1階〉㊐3月16日㊋～21日㊐㊗10時～18時、初日は13時～、最終日は～16時㊙無料㊥絵画、写真、その他約80点

■遊美塾大阪写真展〈東館1階〉㊐3月16日㊋～21日㊐㊗10時～18時、初日は13時～、最終日は～15時㊙無料㊥写真約150点

■山本幸雄教室展2021〈東館1・2階〉㊐3月24日㊌～28日㊐㊗10時～17時、最終日は～16時㊙無料㊥洋画約100点

■第64回兵庫二紀展〈本館1・2階〉㊐3月28日㊐～4月4日㊐㊗10時～18時、最終日は～16時㊙無料㊥洋画、彫塑約150点

■辻恵子個展《インドの風plus53年の歩み》〈東館1・2階〉㊐3月31日㊌～4月4日㊐㊗11時～18時、最終日は～15時㊙無料㊥洋画、その他約80点

横尾忠則現代美術館
☎078・855・5607

※4階改修工事等のため臨時休館／3月25日㊍まで1階ミュージアムショップのみ営業(月曜日を除く)

■Curators in Panic ～ 横尾忠則展 学芸員危機一髪
㊐3月27日㊏～8月22日㊐㊗10時～18時、入場は17時30分まで㊡月曜日(ただし祝日の場合は翌平日)㊙一般700円(友の会会員は550円)、大学生550円、70歳以上350円、高校生以下無料㊥今年から来年にかけて国内外で横尾忠則の大規模な個展が開催予定。横尾作品が収蔵庫から消えても企画展は開催できるのか？ 3名の学芸員が収蔵品の中からそれぞれの「推し作品」への愛情を語ります。

神戸

貞松・浜田バレエ団 55周年記念「創作リサイタル32」
㊐3月20日(土・祝)㊗15時㊙S席5000円、A席4000円、B席2000円(全席指定)＊5歳以上入場可㊥「Falling Angels（再演）」振付／イリ・キリアン、「新作（世界初演）」振付／森優貴、「新作（世界初演）」振付／コーラ・ボス・クルーセ＆ケン・オソラ㊧**神戸文化ホール中ホール**㊦貞松・浜田バレエ団☎078・861・2609★1組2人に。11日㊍必着

阪神南・北

■県民芸術劇場 スプリング・モーツァルト～関西フィルハーモニー管弦楽団特別演奏会
㊐3月14日㊐㊗15時㊙一般3500円、高校生以下2300円(全席指定)㊤指揮／山下一史、管弦楽／関西フィルハーモニー管弦楽団、ソプラノ／尾崎比佐子、メゾソプラノ／岸畑真由子、テノール／小餅谷哲男、バス／松森治㊧**川西市キセラホール**㊦(公財)川西市文化・スポーツ振興財団☎072・740・1117

東・北播磨

■フジコ・ヘミング＆古澤巖～奇跡と魂のコンサート～
㊐3月14日㊐㊗15時㊙GS席12000円、S席10000円、A席8000円、B席6000円㊤ピアノ／フジコ・ヘミング、ヴァイオリン／古澤巖、指揮／マリオ・コシック、管弦楽／北九州グランフィルハーモニー管弦楽団㊧㊦**加古川市民会館大ホール**☎079・424・5381

中・西播磨

■県民芸術劇場 淡路人形浄瑠璃 佐用公演
㊐3月13日㊏㊗13時30分㊙前売：一般1500円、高校生以下500円、当日：一般2000円、高校生以下800円(全席自由)㊥「戎舞」「奥州秀衡有鬱婿 鞍馬山の段」「鬼一法眼三略の巻 五条橋の段」㊧㊦**さよう文化情報センター**☎0790・82・3336

但馬

■第51回企画展「豊岡と戦国大名」
㊐3月13日㊏～7月20日㊋㊗9時～17時、入館は16時30分まで㊡水曜日（祝日の場合は翌平日）㊙一般500円、大高生300円、中小生250円㊥戦国時代、日本各地で台頭した個性際立つ戦国大名たち。本展ではさまざまな大名と豊岡の地とのかかわりを、考古資料・古文書などから紹介します。㊧㊦**豊岡市立歴史博物館―但馬国府・国分寺館―**☎0796・42・6111

丹波

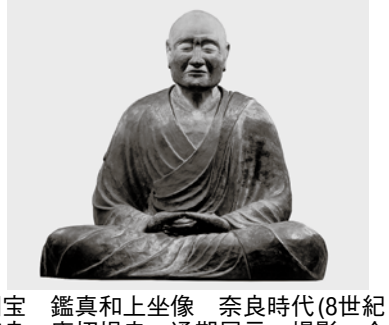
■県民芸術劇場 春の合唱祭～みんなで楽しむあの歌この歌～
㊐3月28日㊐㊗14時㊙500円(当日600円)、全席自由＊3歳以上有料(3歳未満でも座席が必要な場合は有料)㊤指揮／青木耕平、ピアノ／河内仁志、中村圭介、合唱／神戸市混声合唱団㊧**丹波市立ライフピアいちじま大ホール**㊦丹波市まちづくり部文化・スポーツ課芸術文化係☎0795・74・1050

淡路

■花みどりフェア ダンボールアート展 produced by Taki Tamada
㊐3月20日(土・祝)～5月30日㊐㊗9時30分～㊡会期中無休㊙公園入園料（大人450円、65歳以上210円、中学生以下無料）㊥ダンボールに、新しい命を吹き込むように生き物を制作する兵庫県出身の造形作家・玉田多紀氏プロデュース作品展とファミリー層向けワークショップを開催します。㊧**淡路島国営明石海峡公園ビジターセンター2階**㊦淡路花博20周年記念事業実行委員会事務局☎0799・73・6061

県外（京都）

凝然国師没後700年 特別展「鑑真和上と戒律のあゆみ」
㊐3月27日㊏～5月16日㊐㊗9時～17時30分、入館は17時まで㊡月曜日(ただし祝日の場合は翌平日)㊙一般1800円、大学生1200円、高校生700円、中学生以下無料㊥日本仏教の恩人と言うべき鑑真の遺徳を唐招提寺に伝えられた寺宝によって偲ぶとともに、仏教徒が守るべき倫理規範である「戒律」のおしえが日本でたどった歩みを、綺羅星のような名僧の活躍と関係諸寺院の名宝によって紹介します。㊧㊦**京都国立博物館**☎075・525・2473★5組10人に。11日㊍必着



国宝　鑑真和上坐像　奈良時代(8世紀)
奈良・唐招提寺　通期展示　撮影：金井杜道

春のうきうきフェア
～花満開!! 心もうきうき フラワーセンターの春～

3/20(土・祝)～5/31(月)

チューリップまつり2021　3/20 ～ 4/30
350品種16万本の色とりどりのチューリップが咲き誇ります
（チューリップまつり期間中は無休で開園します）

鯉鯉(こいこい)まつり　4/24 ～ 5/31
約200匹の「鯉のぼり」が春の大空を泳ぎます

子どもまつり　5/1 ～ 5/5
コンサートや大道芸など子供が楽しめる催しを開催！

兵庫県立考古博物館 加古分館 古代鏡展示館 Hyogo Prefectural Museum of Ancient Bronze Mirrors
TEL 0790-47-2212　FAX 0790-47-2213
(兵庫県立フラワーセンター内)

公益財団法人 兵庫県園芸・公園協会
兵庫県立 フラワーセンター
〒679-0187　兵庫県加西市豊倉町飯森1282-1
TEL(0790)47-1182　FAX(0790)47-1561
兵庫 フラワーセンター　検索

ピッコロ演劇学校・舞台技術学校
令和3年度生募集
4月開講（1年間・夜間開講）

日本を代表する劇作家・演出家・俳優、現役で活躍する舞台技術者を講師にむかえ、演劇や舞台づくりの基礎から実践まで、一年間かけて学べる学校です。夜間開講で社会人でも通えます。

ピッコロ演劇学校

■初心者でもよくわかる、座学&実践のカリキュラム
■半期ごとに発表会を実施
■「劇場が教室」という最高のメリット
■舞台技術学校の授業も聴講可

【応募資格】18～35歳までの健康な人
【募集人数】本科40名、研究科20名※経験者対象
【年間授業料】本科120000円、研究科132000円※3期分納
【授業】原則火・木曜、18時40分～20時40分
【応募締切】前期／本科・研究科3月16日(火)、後期／本科・研究科4月7日(水)

ピッコロ舞台技術学校

■基礎から本番まで、イチから学べる丁寧な講義
■実践重視のカリキュラム
■プロとして活躍する卒業生も多数
■演劇学校の授業も聴講可

【応募資格】18～40歳までの健康な人
【募集人数】30名
【年間授業料】100000円※3期分納
【授業】原則水・金曜、18時40分～20時40分
【応募締切】前期／3月16日(火)、後期／4月7日(水)
【出願方法】詳細はピッコロシアターへお問い合わせください。※定員・カリキュラム等について、新型コロナウイルスの感染状況によって変更になる場合があります。

演術学校

舞台技術学校

ピッコロシアター鑑賞劇場
いいむろなおきマイムカンパニー
「オリンピアの夢」

近代オリンピックの父、クーベルタンが見た夢か幻か…。マイムで描くオリンピックのちょっとしたファンタジー。待望の再演決定！

【作・演出】いいむろなおき
【出演】いいむろなおき、田中啓介、三浦 求、谷啓吾、羽田兎桃、茂木健一、橋本昌也、小山ゆうま、藤井昇太郎、川島由衣
【日時】4月16日(金)19時、17日(土)14時
【場所】ピッコロシアターホール 大ホール
【入場料】一般3000円、高校生以下1500円（全席指定）＊電話予約受付中

ピッコロシアター
兵庫県芸術文化協会友の会会員は、主催公演を割引で鑑賞できます（本人のみ、事前予約・要会員証）
アクセス
■JR宝塚線塚口駅から徒歩約5分
■阪急神戸線塚口駅から徒歩約8分
お申し込み お問い合わせは
☎06・6426・1940
https://piccolo-theater.jp/

兵庫県立芸術文化センター
3月発売予定公演

6日(土)発売

宮川彬良&アンサンブル・ベガ
こどもの日スペシャル♪

3歳から大人まで楽しめるクラシック・コンサート！ お馴染みの曲をアキラさんの楽しい解説つきでお贈りします。

© PACO
宮川 彬良

【曲目】すみれの花咲く部屋、赤とんぼ ほか
【出演】宮川彬良（ピアノとお話）&アンサンブル・ベガ
【日時】5月5日（水・祝）14時30分
【場所】KOBELCO大ホール（芸術文化センター）
【入場料】おとな（中学生以上）2500円、こども（3歳～小学生）1000円（全席指定）

12日(金)発売

佐渡裕芸術監督プロデュースオペラ2021関連企画
喜歌劇「メリー・ウィドウ」
ワンコイン・プレ・レクチャー

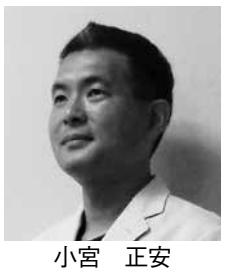
5月は、『メリー・ウィドウ』にひそむ秘密や仕掛けを、舞台の裏側を知る演出家ならではの視点で中村敬一氏が解説。さらに公演でハンナ役を務める高野百合絵が一足早く名曲を披露。

6月は、作品が初演された時代のウィーンに焦点を当てたレクチャー。ヨーロッパ文化史の専門家・小宮正安氏が、〝世紀末ウィーン〟文化に迫ります。

ともにお得な90分で、夏の『メリー・ウィドウ』上演が一層楽しくなります。

■舞台の裏を知る演出家が教える「オペレッタの愉しみ方！」

中村 敬一


小宮 正安

【講師】中村敬一（演出家）
【演奏】メゾ・ソプラノ／高野百合絵、ピアノ／掛川歩美
【日時】5月26日(水)11時30分・14時30分
■「メリー・ウィドウ」とウィーンの世紀末
【講師】小宮正安（ヨーロッパ文化史・ドイツ文学研究家）
【日時】6月24日(木)11時30分・14時30分
【場所】阪急中ホール（芸術文化センター）
【入場料】500円（全席指定）

佐渡裕芸術監督プロデュースオペラ2021
喜歌劇「メリー・ウィドウ」
全3幕／日本語上演・日本語字幕つき／改訂新制作

2021年のプロデュースオペラは喜歌劇「メリー・ウィドウ」。2008年に大きな反響を呼んだ作品が時を経て、新たなキャストで改訂新制作を果たします！

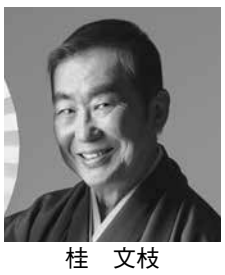
パリを舞台に、美しいメロディが散りばめられた煌びやかなコメディ。ワルツやフレンチ・カンカンなどが舞台を賑わし、笑いもたっぷりお届けします！

今回の上演では、期待の新星・高野百合絵、黒田祐貴という若きハンナ&ダニロが大抜擢！ 一方の組は兵庫が誇るプリマドンナ並河寿美、2008年にダニロ役を好演した大山大輔という充実の配役。さらに元宝塚歌劇団トップスターの香寿たつき、上方落語の重鎮・桂文枝も登場し、夢のオペレッタが実現！

並河 寿美

高野百合絵

佐渡 裕


桂 文枝

香寿たつき

© Yoshinobu Fukaya
大山 大輔

黒田 祐貴

【音楽】フランツ・レハール
【台本】ヴィクトル・レオン、レオ・シュタイン
【指揮】佐渡 裕
【演出】広渡 勲
【出演】ハンナ・グラヴァリ／高野百合絵、並河寿美、ダニロ・ダニロヴィッチ伯爵／黒田祐貴、大山大輔、シルヴィアーヌ／香寿たつき、ニエグシュ／桂 文枝 ほか
【合唱】ひょうごプロデュースオペラ合唱団
【管弦楽】兵庫芸術文化センター管弦楽団
【日時】7月16日(金)、17日(土)、18日(日)、20日(火)、21日(水)、22日(木・祝)、24日(土)、25日(日) 各日14時
【場所】KOBELCO大ホール（芸術文化センター）
【入場料】A席1200円、B席9000円、C席7000円、D席5000円、E席3000円（全席指定）
※A席のみ13日(土)発売

21日(日)発売

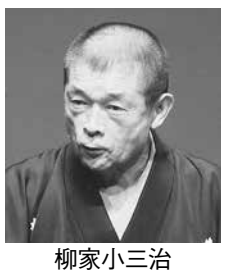
柳家小三治・柳家三三 親子会

当代随一の噺家、人間国宝・柳家小三治が2015年・2017年に続き芸文センターに登場！ 柳家一門の真骨頂である滑稽話を得意とし、マクラ（噺の導入部）が長いことでも有名です。

そして、今回も小三治の愛弟子であり若手真打の筆頭株・柳家三三との親子会が実現！

江戸落語の粋を心ゆくまでご堪能ください。

【出演】柳家小三治、柳家三三（演目は当日のお楽しみ）
【日時】5月21日(金)14時
【場所】阪急中ホール（芸術文化センター）
【入場料】A席5500円、B席4000円（全席指定）


柳家小三治

柳家三三

チケットを購入されるお客様へ

新型コロナウイルス感染防止対策にご理解とご協力をお願いいたします。
※マスクを着用されない方はご入場できません（マウスシールド不可）。
※37.5℃以上の発熱がある方は入場をお断りさせていただきます。
※来場者情報を把握するため、芸術文化センターでのチケットのご購入は芸術文化センター先行予約会員の登録（無料）が必要です。お一人様2枚（「宮川彬良&アンサンブル・ベガ」は4枚）までとさせていただきます。
※掲載の情報は、都合により変更になる可能性がございます。最新の情報につきましては、当センターウェブサイト等をご確認ください。

兵庫県立芸術文化センター
アクセス
■阪急西宮北口駅南改札口スグ（連絡デッキで直結）
■JR西宮駅より徒歩15分（阪急バス7分）
お申し込み お問い合わせは
☎0798・68・0255
（10時～17時・月曜休み ※祝日の場合翌日）
http://www.gcenter-hyogo.jp

第279回

素顔拝見

令和2年度ふるさと文化賞受賞者

奇祭の継承　養父神社お走りまつり保存会

約1800年前に始まった但馬路に春を告げる奇祭

贈呈式後に記念撮影し受賞を喜ぶ高島正博・保存会会長(70、前列右)伊藤千可志・養父神社宮司(48、左)太田垣敏和・保存会副会長(76、後列右)高階豊宏・保存会会計担当(66、左)

但馬路に春を告げる奇祭、養父神社（養父市）お走りまつりの実施、伝承活動に努めている保存会は、今年4月17日㈯、18日㈰に予定していた神輿巡行を中止し、関係者で神事のみを行うことを決めた。新型コロナウイルスの感染拡大による決断で、巡行中止は2年連続。

「県内にも緊急事態宣言が出されたことで巡行を行うと三密回避など感染拡大防止対策実施が非常に難しいため、2月の役員会で苦渋の選択をしました」と高島保存会会長。

神功皇后の代、約1800年前に始まったと伝えられ、郷里の安定、家業繁栄などを願うまつり。神功皇后が三韓出征の帰国後、養父神社に「葛の葉の餅」を献上され、一部を斎神社にお供えされた故事にちなんだなど起源には諸説がある。神輿が「常に走るように練る」ことから、「お走りまつり」の名が付いた。2004年に同市の無形民俗文化財に指定された。まつりでは、舁丁と呼ばれる成人の男衆10人が養父神社から神輿を抱えて大屋川を渡り、氏子集落に立ち寄りながら片道約20キロの斎神社を目指す。その途中に斎神社の神輿と合流し建屋で一泊。翌日、神事の後、両神社の神輿は練り合わせし各神社に帰る。

冷水が激流となって流れ下るなか、神輿を抱え勇壮に突き進む

最大の見せ場は大屋川を渡る川渡御だ。神輿は08年に新調。重さ150キロほど。肩で担ぐのではなく、腰より低い位置で柄を持って、そでで抱え込み、神輿の屋根や胴を揺すって前進させるのが特徴。烏帽子をかぶり、長そで肌着に白張などそろいの装束に地下足袋姿の舁丁は「はっとう、よござぁるかぁ」の声を掛け合いながら渡る。この掛け声は、お祝いのお餅を分ける量は、めでたい数の八斗でよろしいかの意味。4月半ばとはいえ、但馬路はまだ寒い。大雪の年は水量、水勢が増す。足で川底を探りながら歩むが、急流で進路がずれ出し、見守る多くの見物人らから励ましの声が飛ぶ。神輿ごと数十メートル流された年も。勇壮・果敢が魅力のようだ。

「格好いいし幼いころから一度は舁丁役をしてみたかった。めっちゃ寒く水は冷たい。でも神様を無事におつれし終えた達成感が大きな喜びに。思った通りで、やってよかったです」と20～30代のころ10回ほど巡行した会社員の児島太郎さん㊻。また、20代から10数回巡行、児島さんと先頭で舵取り役をした会社員の平山智崇さん㊷は、「舁丁役に選ばれるのは男の誇りと思う。身長185センチの私の肩まで水につかった時もあったが神輿巡行を通して他地区の人たちと交流できたのがうれしかったです。機会があれば、20歳を超えた息子と親子で神輿を抱えたい」。

まつり2日目。建屋地区で、にぎやかに練り合わせる養父・斎両神社の神輿＝いずれも12年、養父市内で

保存会は、両神社や氏子・関係集落の関係者が集まり、03年に結成。会員は約40人。

養父神社伊藤宮司は2月の贈呈式でこう話した。「今回の受賞は明るいニュースで、関係者一同、心より喜んでいます。コロナ禍が終息、巡行が再開された際には、より盛り上げ但馬の希望の光としてともし続けます」。

～新進芸術家に発表の場を提供～

新進芸術家育成プロジェクト リサイタルシリーズ

兵庫県民会館けんみんホールで開催

将来の活躍が期待される若手アーティストに発表の場を提供するとともに、気軽に良質な音楽を楽しんでいただく「新進芸術家育成プロジェクト・リサイタルシリーズ」。毎月1回、兵庫県民会館けんみんホールで開催していた以前のリサイタルシリーズを、定員を半数に制限するなど、これまでの感染防止対策を講じた上で4月から再開します。

チケットは兵庫県民会館1階フロントで購入いただけます。そのほか最新の情報はHPまたは、当協会までお問い合わせください。

4月　Vol.34

根垣りの ヴァイオリンリサイタル

【日時】4月30日㈮18時30分

【出演】ヴァイオリン／根垣りの、ピアノ／森本美帆

根垣りの＝神戸市出身。兵庫県立西宮高等学校音楽科を経て、東京藝術大学音楽学部卒業。その後スコラ・カントルム音楽院（フランス・パリ）に在籍し、卒業時にDiplôme supérieur修了。現在は自身のリサイタルやオーケストラの客演、バロックヴァイオリンでの演奏活動に加え、後進の指導も精力的に行っている。

根垣 りの

【予定曲目】ビーバー／パッサカリア、ブラームス／ヴァイオリンソナタ第2番作品100、フランク／ヴァイオリンソナタ　ほか

【入場料】一般3000円、大学生以下1000円

＊いけばな／未生真流

5月　Vol.35

大森 花 ソプラノリサイタル ～やさしいうた～

【日時】5月28日㈮18時30分

【出演】ソプラノ／大森 花、ピアノ／大坪健人

大森 花

大森 花＝ニューヨーク生まれ。兵庫県立西宮高等学校音楽科声楽専攻卒業。京都市立芸術大学音楽学部声楽専攻卒業、同大学院音楽研究科声楽専攻修士課程修了。卒業後はボストンへ渡米し、コネチカット歌劇場やボストン交響楽団タングルウッド・フェスティバル合唱団員として多くの公演に出演。現在は関西を拠点に活動している。

【入場料】3000円

＊いけばな／未生流中山文甫会

【場所】兵庫県民会館けんみんホール

＊当協会友の会会員は入場料が1割引になります。

【問い合わせ】当協会「新進芸術家育　成プロジェクト」係☎078・321・2002

※今後の新型コロナウイルス感染拡大の状況や、政府や県の方針等により内容を変更する可能性がありますので、あらかじめご了承ください。

☆抽選で各リサイタルのチケットを5組10名様にプレゼント。
☆友の会会員を別途ご招待。各リサイタルお一人様2枚まで。
応募方法は本紙3面3月11日㈭必着

◇◆◇

ふれあいの祭典 県民文化普及事業 実施レポート（11・12月開催イベント）

今年度の「ふれあいの祭典」は新型コロナウイルス感染症の影響で半数の事業が中止になりました。そんな中でも感染防止対策を行い実施された事業を先月号に引き続き紹介します。今回は昨年11月・12月に開催された5事業です。

11月開催イベント

◆全国手工芸コンクールinひょうご

【開催日】11月13日㈮～15日㈰

【会場】原田の森ギャラリー

【内容】全国から応募があった多彩な作品全てを展示。出品数159点（紙工芸27点、布工芸44点、糸工芸35点、工芸Ⅰ14点、工芸Ⅱ32点、招待7点）。

全国手工芸コンクールinひょうご

◆兵庫短歌祭

【開催日】11月21日㈯

【会場】兵庫県民会館けんみんホール

【内容】受賞者の表彰と電気通信大学名誉教授・島内景二氏による講演「和歌と異文化統合―『五七五七七』は和の韻律」が行われました。

兵庫短歌祭

12月開催イベント

◆兵庫県いけばな展（芦屋市会場）

【開催日】11月28日㈯～29日㈰

【会場】芦屋市民センター

【内容】西宮いけばな協会会員と兵庫県いけばな協会役員の作品展示、芦屋市茶華道協会による煎茶席が行われました。

兵庫県いけばな展（芦屋市会場）

◆ひょうご演劇祭

【開催日】12月20日㈰

【会場】丹波篠山市立四季の森生涯学習センター

【内容】演劇ワークショップを受けた地元の子どもたちも参加した〈劇団道化座子どもと親の劇場〉「うんとこどっこいネズミ」が上演されました。

ひょうご演劇祭

◆兵庫ふれあい美術展

【開催日】12月25日㈮～27日㈰

【会場】原田の森ギャラリー

【内容】応募作品全てを展示。出展数553点（日本画60点、洋画283点、彫刻9点、工芸48点、書56点、写真97点）入賞者数69名（特別賞35点、佳作34点）。

兵庫ふれあい美術展

◆3月から開催される「亀高文子記念―赤艸社賞 歴代受賞者作品展」が楽しみで心が躍ります。（芦屋市・T）

★県民アートギャラリーで今月5日から開催です。詳細は3面に。（編集部）

◆またいつか日帰りバス旅行に行けますことを願います。（神戸市・T）

★「ふるさと文化紀行」など旅の企画が「またいつか」実施できるようになればいいですね。（編集部）

みなさまからのお便り

みなさまのご意見、ご感想をお寄せください。（なお、ご趣旨に沿って、文章を修正させていただくことがあります）

★〒650-0011 神戸市中央区下山手通4-16-3（公財）兵庫県芸術文化協会「すずかけ」係へ。

FAX、eメール可★FAX 078・321・2139

eメール：sinkoubu@hyogo-arts.or.jp

友の会2021
新たな特典施設とサービスのご案内

チケット斡旋サービスがスタート
★友の会会員限定

4月から新たに神戸新開地喜楽館、国立文楽劇場、新歌舞伎座、西宮能楽堂が友の会会員特典施設に加わります。各提携施設とも、ガイドライン等に基づいた様々な感染予防対策を実施しています。劇場やホールならではの臨場感あふれる公演をお楽しみください。

また新たに、会員特典として、提携劇場等による指定公演のチケット斡旋サービスをスタートします。4月に斡旋申し込み予約受付を予定している公演は6月6日(日)、国立文楽劇場「大人のための文楽入門／Discover BUNRAKU」、6月26日(土)県立芸術文化センター小ホール「和と洋で聴くシューベルトの魔王」、7月7日(水)県立芸術文化センター中ホール文楽in hyogo「弥作の鎌腹」です。チケット斡旋サービスの申し込み方法等の詳細情報については、すずかけ4月号の送付時にご案内します。伝統芸能、クラシック、演劇など、様々なジャンルの公演を会員の皆様がお得にお楽しみいただけるよう、また今後、更に魅力あるサービスをご提供できるよう努めてまいります。

ワクワク、ドキドキを大切に、暮らしに息づく文化の力。魅力あふれる公演をご提案することで、皆様の日常に素敵な感動をお届けするお手伝いが出来ましたら幸いです。

チケット斡旋サービスは友の会会員限定のサービスとなります。なお、これまで通り指定の美術館や博物館等の入館料の割引、指定のホテルや画材や書道用具を扱う店舗等での優待もございます。

皆様お誘いあわせの上、友の会にぜひご入会ください。

国立文楽劇場

国立文楽劇場
大阪 新歌舞伎座
兵庫県 西宮能楽堂

兵庫の城跡訪ねて

明石城（明石市）
船上城本丸跡は畑の中
波門崎燈籠堂　観光資源へ

放映されていた大河ドラマ「麒麟がくる」は、本能寺の変で終わりました。むろん歴史はこのあとも続き、明智光秀を敗死に追い込んだ豊臣秀吉は天下の実権を握り天正13（1585）年、大名の配置替えを実施。明石には高槻城主だった高山右近を置いたのでした。右近は、明石川の河口付近に船上城を築きます。

船上城跡を探しました。明石市新明町、船上西公園の近くに城跡があると知り、その公園へ。

公園には、船上城跡と記した案内板があります。船上城の本丸跡は高さ数メートルの塚のような台地でした。神社の祠があり、松や雑木が茂っています。住宅と畑が周りにあって、私有地なので入れません。畑の畔から写真を撮りました。

秀吉は天正15（1587）年、伴天連追放令を出します。右近はジュストという洗礼名を持つキリシタンでした。この追放令で、領地を没収されます。剃髪し南坊等伯と名のり前田利家に寄食。その後、慶長18（1613）年、江戸幕府が発したキリスト教禁止令により、翌年右近はマニラに追放され、その次の年そこで死去します。

西国の外様大名への備えとして、江戸2代将軍徳川秀忠は、明石城の築造を小笠原忠政（のち忠真）に命じます。城は元和5（1619）年にできました。

明石城。手前は巽櫓（たつみやぐら）、向こうは坤櫓（ひつじさるやぐら）

船上城の本丸跡付近

明石城跡はいま、県立明石公園になっています。

同公園は春になるとサクラの名所となります。

とき打ち太鼓は、同公園の入り口付近にあります。はかまにかみしも姿のロボットの若者が、きまった時刻に太鼓を打ちます。「ハイテク技術と歴史的伝統を取り合わせた明石の新しいシンボル」です。西の巽櫓の北側にまわり、東の坤櫓へ歩きました。二つの櫓が一枚の写真におさまる場所を探しました。

お城のすぐ南に、織田家長屋門があります。門は、船上城から移築されたといわれます。門の止め金は、室町時代の様式を伝えているとされます。

船上城を再利用した織田家長屋門

劣化の進む波門崎燈籠堂（旧灯台）

日本最古の石造り灯台といわれる波門崎燈籠堂（旧灯台）を見ようと、明石港へ行きました。明石と淡路島・岩屋を結ぶフェリーが出入りする港口のそばに旧灯台はあります。周りは金網のフェンスで囲ってあります。

江戸時代の明暦3（1657）年に造られたと伝えられています。

明石市は、来年秋に開催される「全国豊かな海づくり大会」の兵庫プレ大会（今年開催）までにかつての形を再現するほか、照明設備を設けて旧灯台をライトアップする予定です。

老舗の和菓子屋さん、藤江屋分大を訪ねました。丁稚でも買える安価な羊羹をと、名物の丁稚羊羹を作り続けています。いちご大福は口の中でイチゴがはじけて甘酸っぱい味が広がりました。

創業200年余の藤江屋分大

お出かけちょっとメモ

▼船上城跡＝明石市新明町9の船上西公園をめざす。山陽電車西新町駅から南へ徒歩8分。船上城は別名、明石城、明石古城とも☎明石観光案内所078・911・2660。平日9時～19時、土日祝9時～18時、定休1月1日

▼明石公園＝明石市明石公園1―27。JR明石駅のすぐ北。巽櫓と坤櫓は国の重要文化財☎兵庫県園芸・公園協会078・912・7600

▼織田家長屋門＝明石市大明石町2―1。JR明石駅から西へ3分。明石市文化財。織田家は織田信長らを生んだ一族の後裔で、代々明石藩の家老を務めた。

▼波門崎燈籠堂（旧灯台）＝明石市港町2―9地先。JR明石駅から南へ徒歩15分ぐらい。そばに駐車場はない。

▼和菓子藤江屋分大＝本店は明石市本町1丁目12―17。9時～17時。火曜定休。「ぶんだいさん」の呼び名で親しまれている☎078・911・3635

駐車場37台完備（24時間営業）

兵庫県民会館

音楽会、講演会、研修会、展覧会などにご利用いただけます。
ホール専用（各1台）、会議室専用（2台）のプロジェクターを導入。（無料）

9階けんみんホール
定員360名。
可動席もあり、多彩な利用ができます。

11階パルテホール
定員150名。展示商談会、各種表彰式にも利用できます。

県民会館のSNS発信を始めました。
ギャラリーの展示会情報やご利用案内などをお届けします。
facebook フェイスブック
twitter ツイッター

入口でのサーモカメラ設置など、新型コロナウイルス感染防止対策に取り組んでおります。ご理解とご協力をお願いいたします。

兵庫県民アートギャラリー
展示パネル、室内照明等リニューアル
1月28日から利用再開中

〒650-0011
神戸市中央区下山手通
4丁目16番3号
【アクセス】
地下鉄山手線「県庁前駅」下車すぐ
JR神戸線「元町駅」・阪神本線「元町駅」下車、北へ徒歩約7分

お申込み・お問い合わせ
TEL. 078-321-2131
FAX. 078-321-2138
http://hyogo-arts.or.jp
※空室情報はホームページで随時更新中